# 令和4年度 事業計画書

令和4年4月1日~令和5年3月31日

令和4年3月5日 公益社団法人 日本綱引連盟

## 令和4年度事業計画書

#### 方針

今年度は財政立て直しを喫緊の最重要課題として全会員で取り組むこととします。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3年連続で全日本綱引選手権大会の中止を筆頭に全ての主催大会が実施出来ませんでした。この事により全国の競技者・審判員の登録が昨年度から更に大きく減少しました。この事は、連盟の財政運営にも大きな影響を及ぼしています。したがって今年度は、安心・安全な大会開催を実施する事により登録者数の増加を目指します。それに合わせ、綱引競技の持つ魅力をあらゆるチャネルでアピールし、普及啓発活動を行いながら、国体公開競技参加を筆頭に綱引競技人口の拡大、そして、ジュニア・ユース層の掘り起こし拡大を目指します。

## 目標

#### 1 財政確立

全国の地方連盟、会員登録者をを含めた全員で財政の現状を理解し自主 財源確立に取り組みます。また、より多くの法人・個人に支援を要請し、 各種事業の経済性や合理性を見直すと共に、各種経費の節約を適切に行い 自主財源の確保に努めます。また、綱引関係者全員で各種コンプライ アンス(法令遵守)に努めます。

①公式サポーター制度による寄付金募集事業の展開

公式サポーターの募集により、一般と法人からの支援を受けて事業に活用し、同時に寄付金控除のメリットを生かし大口スポンサーの開拓に繋げて行く活動を展開します。

#### ②購買

今年度も引き続き綱引競技必携・液体チョークの販売強化に努めると共 に、他の商品の開発販売に努めます。

③各登録料等の納付期限厳守

連盟運営の根幹にかかわる加盟分担金・正会員費・競技者登録費・審判員 登録費の納入期限厳守を実行します。

#### 2 ジュニア・ユース発掘・指導者育成

JSC基金助成金により、全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会を開催し、ジュニア・ユース層の掘り起こしを図り、また、競技の普及に努め、都道府県連盟の関係者を含め幅広く「公認指導者コーチ1」講習会への参加を促します。

#### 3 医科学分野

大会開催に向け、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに、 選手強化(とりわけ女子選手)と個々のコンディショニング管理を進め、 チーム強化を図ります。

#### 4 アンチ・ドーピング活動

全日本綱引選手権大会を対象にアンチ・ドーピング講習会を今まで通り 実施し、また、公認指導者コーチ1のカリキュラムにも強化編入し、全体 でアンチ・ドーピング活動を展開します。

## 公益目的事業(公1)綱引の普及啓蒙事業

#### 1 国内外競技会の開催

令和4年度主な競技会日程

| 月日       | 場所                     | 開催場所       |
|----------|------------------------|------------|
| 6月25・26日 | 栃木国体 公開競技              | 大田原市県北体育館  |
| 8月7日     | 2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 | 京都島津アリーナ   |
| 令和5年     | 2023全日本綱引選手権大会         | 駒沢オリンピック公園 |
| 3月4日5日   |                        | 総合運動場体育館   |

#### ① 協力体制の強化

今年度は全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会が京都での開催のため、連盟が一体となると共に協力体制を強化していく。

## ② 新規公認審判員の認定

新規A審判員育成とAA審判員へのスキルアップを図る。これは、各ブロックに 居る技術審判員を中心にして、審判技術等指導育成していくこととする。

#### ③ AAA審判員認定講習会及びスキルアップ研修会

新規AAA審判員認定講習会の開催とAAA審判員を対象に審判技術の更なる向上と、競技規則の全国統一認識等を図ると共に組織拡充策を練る研修会を、技術審判員会を中心に実施する。

#### ④ 中央研修会の開催

審判員、競技者、指導者を対象に競技規則の共通理解と審判技術の向上、競技者への理解促進を図る研修会を技術審判員会を主体として開催する。

#### ⑤ アンチ・ドーピング教育

今までは全日本綱引選手権大会出場チームに対して、アンチ・ドーピング講習 を実施していたが、今後は、綱引関係者、特に綱引指導に関わる人も対象にし て、あらゆるチャネルの場で講習を実施する。

## ⑥ 公認指導者コーチ1講習会

公認指導者コーチ1研修会については、JSCが令和5年度より基礎研修(従来はNHK学園が主催)を含めて担当することになりました、座学研修や、実技研修の内容も見直しされる方向になっております。それらを受けて、私たち連盟も講習内容を検討しなくてはなりません。また、現在は、綱引実技の指導要請があった時に、要請先より「指導者資格」の有無を確認されることもあり、綱引経験者というだけでは、指導に派遣できなくなる事が予想されます。その為にも「公認指導者コーチ1」の資格取得は必然となってきますので、今年度から更に強化していきます。

# 【予定】

| 月日     | 課目                   | 開催地                     |
|--------|----------------------|-------------------------|
| 8月     | 公認指導者コーチ1講習会 I       | 未定                      |
| 9月     | 第1回中央研修会(東日本会場)      | 群馬県                     |
| 10~11月 | 第2回中央研修会(西日本会場)      | 未定                      |
| 10月    | 公認指導者コーチ1講習会 Ⅱ       | 未定                      |
|        | 2022AAA認定試験(筆記・口頭試験) | 国立オリンピック記念<br>青少年総合センター |
| 12月    | 公認指導者コーチ1講習会 Ⅲ       | 未定                      |
| 未定     | 2022AAA認定試験(実技試験)    | 群馬県                     |
| 未定     | アンチ・ドーピング講習会         | 未定                      |

### 2 綱引 文化推進事業

① 全国各地域で行われている綱引に関する伝統行事、イベント等に積極的に協力し、 伝統文化の継承・発展、地域活性化に寄与します。